

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 平成 27 年 10 月 22 日（木） 10 時 01 分～16 時 31 分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 安田農政水産部長、田端会計管理局長、森野企業庁長、河原教育長、猪田人事委員会事務局長、高砂監査委員事務局長、日爪議会事務局長および関係職員

◎ 議事の概要

1 議第126号、議第128号、議第129号、報第8号、報第10号および報第11号について

【農政水産部所管分】

委員からは、中山間地域の耕作放棄地が徐々に荒れてきているが、この対策を考えて研究する職員が必要ではないか、絶滅しかけている蕪の種があるが、県の資源として守る取り組みが必要ではないか、漁獲量を回復させるためには漁業の担い手を確保する取り組みも必要ではないか、これからの農業を考えると普及指導員の果たす役割は大きく、人員体制の強化が必要ではないか、などの意見が出された。

【企業庁所管分】

委員からは、前年度の決算と比べると給水事業所数が減っており、また、工業用水の料金が下がらないと製造コストが下がらないという企業からの切実な声もお聞きしているので、料金を下げるために出来るだけ多くの企業に契約していただき、トータルの契約水量をふやすよう努力すべきではないか、などの意見が出された。

【教育委員会所管分】

委員からは、子供の読書活動の推進について、活字や本離れが進んでいる実態で休み時間に図書室を閉めている学校もあると聞いていることから、図書館教育に力を入れるために司書の配置をもっと拡充するようお願いしたい、安全な県立学校施設の整備について基本的には耐震改修工事、天井等落下防止工事と同時には老朽改修工事を実施しないとのことだが、学校は何よりも子供たちの学び舎であるので、ぜひ最優先に改修する気持ちで取り組んでいただきたい、教員の派遣について春に担任を持った教師が、すぐに心身に支障を来たして休まれ、なかなかその補充教員が見つからずに生徒が困っているケースが多くあり毎年そうしたことを繰り返している状況なので、例えば県教育委員会ですぐに対応できるような何人かの教師を配置しておき、トラブルのあった学校に送り込むなど、県教育委員会における体制の見直しを検討いただきたい、スクールカウンセラー等活用事業について相談内容の分析を時間や件数だけでなく、例えば実際にいじめを受けている子供やそれを周りで見ていた子供からの相談がどれだけあるのかなど、もっと個別に把握しないと、この事業の効果が薄れる可能性があるのでは、ぜひこれから実効性のある取り組みをお願いしたい、などの意見が出された。

【会計管理局、人事委員会事務局、監査委員事務局、議会事務局所管分】



委員会で配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）農政水産部
- 2 平成 26 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）農政水産部
- 3 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度工業用水道事業決算、平成 26 年度水道用水供給事業決算）企業庁
- 4 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）教育委員会
- 5 平成 26 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）教育委員会
- 6 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）会計管理局
- 7 平成 25 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）会計管理局
- 8 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）人事委員会事務局
- 9 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）監査委員事務局
- 10 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）議会事務局
- 11 平成 25 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）議会事務局